

## 1 所内研究発表会

### (1) 重点課題実施計画検討会

平成24年8月10日(金)

①食の安全性確保のための多成分一斉迅速分析法の開発およびデータベースの構築(最終報告)

食品保健G 山口之彦

②食の安全性確保のための天然有害物質の系統的解析手法に関する研究(中間報告)

食品保健G 山野哲夫

③大阪市内の結核蔓延状況の分子疫学的解析(最終報告)

微生物保健G 和田崇之

④新型インフルエンザ迅速診断体制の確立およびインフルエンザウイルスのオセルタミビル耐性に関する研究(最終報告)

微生物保健G 久保英幸

⑤新興・再興感染症に対する迅速検査体制整備のための研究(最終報告)

微生物保健G 長谷 篤

⑥新興・再興感染症に対する迅速検査体制整備のための研究Ⅱ(実施計画)

微生物保健G 長谷 篤

⑦多項目遺伝子同時検出法を用いた病原体の検出(実施計画)

微生物保健G 改田 厚

⑧ヒートアイランド現象緩和のための対策に関する研究(最終報告)

都市環境G 榊元慶子

⑨万代池を対象とした公園池水質改善および生物多様性都市空間創造を目指した市民協働事業(中間報告)

都市環境G 西尾孝之

⑩大阪市における大気中微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析法の開発と発生源寄与率の推定(中間報告)

都市環境G 浅川大地

⑪都市ごみ焼却施設におけるコスト低減と環境リスク管理手法に関する事例集(マニュアル)の作成(最終報告)

都市環境G 西谷隆司

⑫市内環境の全体像把握と改善のための環境モニタリングデータを使った挙動解析による総合評価(実施計画)

都市環境G 北野雅昭

## 2 東日本大震災により生じた廃棄物の広域処理に関わる放射性物質の測定方法に関する公開実験

平成24年10月11日(木)

於:環境科学研究所(環境局主催)

『放射能濃度等測定方法ガイドライン』等による排ガス採取のサンプリング方法において、特にガス状のセシウムの挙動がどのようになっているのか、実験装置を用いた確認を、報道機関に公開して行いました。またその様子はインターネットでライブ配信されました。

## 3 行事

### (1) 一日体験講座

平成24年10月20日(土)

於:環境科学研究所

参加者数:2名

Aコース:「リンを測ってみよう。日常生活で捨てられているリン」

Bコース:「測ってみよう!果汁のビタミンC」

(Bコースについては参加申込がなく中止しました)

### (2) 天王寺区みんなの健康展への参加

平成24年10月6日(土)

於:天王寺区民センター

ポスター展示やアンケートを実施しました。

### (3) 府大・市大ニューテクノフェアへの参加

平成24年11月21日(水)

於:大阪産業創造館3階マーケットプラザ

パネル展示やパンフレットの配布を行いました。

### (4) 第14回くらしのサイエンス講演会

(共催:大阪府立公衆衛生研究所)

平成25年1月16日(水)

於:大阪府病院年金会館

参加者数:68名

①今年のインフルエンザは何型ウイルス?

企画G 後藤 薫

②本当にあぶない。脱法ドラッグ

大阪府立公衆衛生研究所 沢辺善之

### (5) 連携環境セミナー

(共催:地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所)

平成25年3月13日(水)

於:地方独立行政法人大阪府立環境農林水産

総合研究所環境科学センター

参加者数:59名

①身近な昆虫と植物の関係

都市環境G 山崎一夫

②農業における昆虫利用～飛ばないテントウ

ムシなどを例に～

大阪府立環境農林水産総合研究所 柴尾 学  
③身近な昆虫が害虫に～関西空港におけるト  
ノサマバッタの大発生～

大阪府立環境農林水産総合研究所 田中 寛

#### 4 刊行物の発行

##### (1) 環境科学研究所報告

一年間の研究業績と事業活動を収録した「平成23年度調査・研究年報(第74集)」(77頁)、「平成23年度事業年報」(83頁)を発行し、官庁・各種団体(82ヶ所)、本市関係部局(120ヶ所)、地方衛生研究所・地方環境研究所(109ヶ所)、大学・研究機関(69ヶ所)、海外大学・研究機関(7ヶ所)等に配布した。

##### (2) 広報誌の発行

研究所の業務の広報及び市民への有益な情報の提供を目的として「健康・環境・サイエンス」を発行し、各区役所等本市窓口での配布、及びホームページに掲載した。

第113号(平成24年6月発行)

- 第1面 生食にはご用心
- 第2面 ユッケが食べられない?!
- 第3面 ヒラメの粘液胞子虫と馬肉の住肉胞子虫
- 第4面 栄養専門学校の紹介

第114号(平成24年9月発行)

- 第1面 水辺の生きものを守る「水生生物の保全に係る環境基準」
- 第2面 空気中のアスベストをはかっているの?
- 第3面 光化学オキシダントが増えているのはなぜ?
- 第4面 シリーズ不思議—大阪の生きもの(その1)「紅葉には意味がある」/栄養セミナー参加者募集「米・再発見!!」のご案内

第115号(平成24年12月発行)

- 第1面 今年のインフルエンザは何型?
- 第2、3面 あぶない違法ドラッグ(脱法ドラッグ)!/くらしのサイエンス講演会のご案内
- 第4面 シリーズ大阪の生き物(その2)「カラスの枝折り」/栄養セミナー参加者募集「米・再発見!!」のご案内

第116号(平成25年3月発行)

- 第1面 「風の道」を行く
- 第2面 河川の異常水質事故について
- 第3面 栄養専門学校の食育活動
- 第4面 シリーズ大阪の生き物(その3)「消えゆく屋内昆虫」/平成24年度連携セミナー「大阪の昆虫を考える」のご案内

#### 5 受賞等

- (1) 地方衛生研究所全国協議会近畿支部支部長表彰  
山口之彦 平成24年7月30日
- (2) 全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部支部長表彰  
西谷隆司 平成24年8月31日
- (3) 地方衛生研究所全国協議会会長表彰  
清水 充 平成24年10月23日

#### 6 見学・研修生の受入

##### 見学

- (1) 見学者 国立大学法人大阪教育大学附属  
高等学校平野校舎生徒 16名  
見学日 平成24年11月22日(木)  
内 容 講義と研究所見学 食品と放射能等(企画G 後藤 薫)
- (2) 見学者 大阪府立天王寺高校生徒 31名  
見学日 平成24年12月12日(水)  
内 容 講義と研究所見学 ①ICP/MS:機器分析で何が分かるか(都市環境G 加田平賢史)、②GC/MS:機器分析で何が分かるか(都市環境G 先山孝則)
- (3) 見学者 大阪市教育委員会教育研究会保健  
部東住吉区支部 13名  
見学日 平成25年2月5日(火)  
内 容 講義と研究所見学 食中毒と感染症(微生物保健G 小笠原 準、企画G 後藤 薫)

##### 研修

- (1) 研修者 環境局職員 5名  
研修担当 都市環境G(酒井 護、古市裕子)  
期 間 平成24年5月23日(水)、24日(木)  
内 容 アスベスト対策
- (2) 研修者 環境局職員 6名  
研修担当 都市環境G(市原真紀子、大島 詔、  
新矢将尚、西尾孝之、北野雅昭)  
期 間 平成24年6月28日(木)、29日(金)  
内 容 水質底質汚染対策
- (3) 研修者 JICA・JST共同プロジェクト研修「製造  
したBDFの公共交通への利用と大気  
汚染削減の評価」技術研修 1名  
研修担当 都市環境G(板野泰之)  
期 間 平成24年7月9日(月)～12日(木)  
内 容 光化学大気汚染物質であるPAN、有機  
硝酸エステル分析法に関する技術
- (4) 研修者 JICA「日墨戦略的グローバル・パート  
ナーシップ研修計画/環境汚染総合  
対策」研修コース 1名

- 研修担当 都市環境G(北野雅昭、榎元慶子、西尾孝之、船坂邦弘、酒井 護、山崎一夫、古市裕子、加田平賢史、奥 勇一郎)
- 期 間 平成24年7月17日(火)～20日(金)
- 内 容 環境科学研究所の環境各分野における分析、調査研究業務に関する概要
- (5) 研 修 者 JICA地方自治体における都市廃棄物処理研修 9名
- 研修担当 都市環境G(酒井 護)
- 期 間 平成24年8月16日(水)
- 内 容 自治体における研究所(廃棄物処理への応用)
- (6) 研 修 者 佐賀県薬業センター 1名
- 研修担当 微生物G(和田崇之、山本香織、中村寛海、長谷 篤)
- 期 間 平成24年9月26日(水)～28日(金)
- 内 容 結核菌VNTR技術取得ほか
- (7) 研 修 者 環境局職員 6名
- 研修担当 都市環境G(高倉耕一、山崎一夫)
- 期 間 平成24年9月19日(水)
- 内 容 生物多様性
- (8) 研 修 者 環境衛生監視員、指導員 10名
- 研修担当 都市環境G(高倉耕一、山崎一夫)
- 期 間 平成24年9月6日(木)～7日(金)
- 内 容 蚊同定研修
- (9) 研 修 者 JICA地方自治体における都市廃棄物処理研修 13名
- 研修担当 都市環境G(酒井 護)
- 期 間 平成24年10月25日(木)
- 内 容 自治体における研究所(廃棄物処理への応用)
- (10) 研 修 者 環境局職員 6名
- 研修担当 都市環境G(船坂邦弘、浅川大地、板野泰之、東條俊樹)
- 期 間 平成24年10月15日(月)、16日(火)
- 内 容 大気汚染対策
- (11) 研 修 者 環境局職員 6名
- 研修担当 都市環境G(西谷隆司、北野雅昭、東條俊樹)、企画G(増田淳二)
- 期 間 平成24年12月10日(月)、11日(火)
- 内 容 化学物質対策、臭気
- (12) 研 修 者 JICA中南米鉱工業による廃水汚染対策コース 16名
- 研修担当 都市環境G(新矢将尚、加田平賢史)
- 期 間 平成24年12月11日(火)
- 内 容 水質分析
- (13) 研 修 者 健康局職員 10名

- 研修担当 都市環境G(山崎一夫、高倉耕一)
- 期 間 平成25年2月14日(木)、15日(金)
- 内 容 ネズミおよび外部寄生虫の調査・同定法
- (14) 研 修 者 消防局職員 23名
- 研修担当 都市環境G(古市裕子)、企画G(神浦俊一)
- 期 間 平成25年2月22日(金)
- 内 容 化学災害救助隊の化学剤検知訓練
- (15) 研 修 者 消防局職員 23名
- 研修担当 都市環境G(古市裕子)、企画G(神浦俊一)
- 期 間 平成25年3月3日(金)
- 内 容 化学災害救助隊の化学剤検知訓練

## 7 講演・講習(講師派遣)

環境問題や公衆衛生についての相談を面接及び電話で常時受けているほか、市内地域団体等を始めとする市民、学生等に対する各種講座や講演会・研究会等に本所の研究員を積極的に派遣している。(学会等における研究発表は6章に掲載)

### 市民向け講演会など

- (1) 萩原拓幸;「食品と放射能」都島食品衛生協会, 大阪市(H24.7.11)
- (2) 長谷 篤;「細菌性およびウイルス性食中毒と食中毒の最近の話題について」守口・門真集団給食研究会, 門真市(H24.7.27)
- (3) 萩原拓幸;「食品と放射性物質について」(社)大阪食品衛生協会北支部主催「食品衛生フォーラム」, 大阪市(H24.9.25)
- (4) 長谷 篤;「食中毒について、最近の話題」鶴見区出前講座, 大阪市(H24.10.26)
- (5) 萩原拓幸;「健康食品でホントに健康になれるの?」旭区女性学級閉講式, 大阪市(H25.2.25)
- (6) 船坂邦弘;「PM2.5って何?」大阪市立環境学習センター 生き生き地球館, 大阪市(H25.3.9)

### 職員向け講演会など

- (1) 宮崎竹二;「学校環境衛生について」大阪市新任校園長研修会, 大阪市(H24.5.7)

### 学術講演会など(学会研究発表を除く)

- (1) 新矢将尚;「水質分析を通じて小学生と学ぶ環境教育への取り組み」JICA集団研修「大都市地域環境政策・環境マネジメントシステム」コース, 大阪市(H24.7.2)

- (2) 奥勇一郎;「環境計測学」大阪市立大学工学部  
建築学科 (H24.7.12) (H24.5.25)
- (3) 酒井 護;「大阪市におけるごみの組成調査結  
果」ベトナム国ホーチミン市における固形廃棄物  
の統合型エネルギー回収事業第1回ワークショッ  
プ, ホーチミン市(H24.8.27)
- (4) 新矢将尚;「下水道整備にともなう都市河川水質  
の変遷」下水道講演会・意見交換会, 大阪市  
(H24.11.3)
- (5) 船坂邦弘;「粒子状無機成分の地域間相関性」  
大気エアロゾルセミナー(大気環境学会近畿支  
部・日本エアロゾル学会「都市大気のPM2.5研究  
会」共催), 大阪府立大学, 堺市 (H25.3.22)
- (6) 高倉耕一;「雑草を探して島めぐり～外来種侵略  
の真実と科学的検証のリクツ～」 「研究者のトビ  
ラ」(セミナー), 弘前大学, 弘前市 (H25.3.25)
- (2) 船坂邦弘, 増田淳二, 榊元慶子, 北野雅昭, 西  
尾孝之, 西谷隆司;「環境工学」大阪市立大学  
工学部化学バイオ工学科(H24.10.4～H25.1.17,  
14回)
- (3) 和田崇之;「細菌学実習」大阪市立大学医学部  
(H24.10.15、H23.10.16)
- (4) 入谷展弘;「ウイルス学」大阪市立大学医学部  
(H24.10.29)
- (5) 引石文夫;「環境衛生学」大阪市立大学医学部  
(H24.11.8)
- (6) 船坂邦弘, 西谷隆司;「気圏環境工学」大阪市立  
大学工学部都市学科(H24.12.6～H25.1.31, 6回)

大学等講義(附設栄養専門学校での講義は除く)

- (1) 改田 厚;「健康へのアプローチ」大阪市立大学